

カイクを通して学ぶ

三年担任 浅山 光一

大正時代まで続いたとされる田無の養蚕文化を知るため、三年生は一学期からカイクを大切に育ててきました。毎日新しい桑の葉を自分たちで用意してやり、勢いよく喰う様を楽しそうに眺めました。生まれたばかりの時は黒く、まとまらない消しカスほどの小ささでした。あまりの小ささに、初見では生き物だと気付けないほどでした。一週間で普通の消しカスくらいまで大きくなり、一か月もすると単三電池ほどになりました。子供たちは自分のカイクを手に乗せたり、名前を付けて呼んであげたり、本で病気の予防や繭の活用法等を調べたりしながら、苦手な子も一生懸命飼育しました。

最大まで成長したカイクが繭を作った時は、その色と形の美しさに驚きました。二学期は実際に繭から糸取りをし、三つ編みでシルクのミサングを完成させました。一学期からの頑張りが一つの形になり、子供たちは嬉しそうにミサングを見せ合っていました。

わかば学級 秩父宿泊学習

わかば学級担任 高木 博幸

九月八日から一泊二日で、秩父方面への宿泊学習を行いました。感染予防に努めながらの三年ぶりの実施となります。一学期から、六年生を班長とする一〜六年生の縦割り班を編成し、準備を進めてきました。

一日目は、バスで宝登山へ向かい、ロープウェイで山頂へ。雲の間からふもとの山並みが覗く景色を見ることができました。宿舎で入浴、夕食の後、五、六年生が準備したレクレーションをみんなで楽しみました。二日目は、川の博物館を訪ね、アドベンチャーシアターで荒川源流から東京湾へ至る様子を体感したり、日本一大きな水車を見学したりしました。

わかば学級の宿泊学習は、学校を離れ、いつもとは違う環境の中での様々な体験を通して、経験の幅を広げるとともに、事前の荷物の準備から入浴や身支度など、生活全般の自立もねらいの一つとしています。低学年から高学年まで皆で力を合わせて活動に取り組み、充実した二日間となりました。

体育学習公開に向けて

体育学習公開担当 和西 彼方

今年度も、昨年度同様に全学年が短距離走と表現運動を行います。着順判定はありませんが、横にいる友達と競い、その友達と呼吸を合わせて運動する機会は、とても貴重な機会だと思います。一人一人が様々な思いをもって表現運動の内容を決めたり、めあてを確認したりするなど、体育学習公開に向けて準備を進めています。自分にはそのような機会がもう訪れないと思うと少し寂しいですが、体育学習公開担当として、子供たちの思いを大切にしたいです。

十月十一日から体育学習公開の練習が本格的に始まります。子供たちが安全に、安心して運動に取り組めるように環境を整備していきます。仲間を思いやり、助け合いながらみんなで盛り上がる姿をぜひご覧ください。

避難訓練・煙体験

生活指導部 川崎 祥子

今年度から、二年ぶりに全校児童七百人が校庭へ集まる避難訓練が再開しました。子供たちは、それぞれの教室から出ると間を開けずに静かに歩いて避難しています。

避難しなければならぬときは、いつやってくるか分かりません。そのような状況になったときに「自分の命は自分で守る」ために落ち着いて避難できるように、日ごろの訓練から真剣に取り組むことが大切です。

学校では、事後指導で、防災ノートを活用しながら指導を行っています。ご家庭でも、「もし離れ離れになってしまったときにはどこに集まるのか」「避難袋の中には何が入っているのか」など、お子様と確認していただければと思います。

また、一・三・五年・わかば学級の子供たちは、煙体験を行います。そのときの様子など、ご家庭でぜひ話題にしてください。